起こらない 確率と 少なくとも ドリル⑤

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目8 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

・「起こらない確率・少なくとも」の 問題。くじ・玉・さいころ・硬貨は どの 結果も 同じ 程度に 起こる ものと する。全部で 25点・15分。大問1・2は、確率を 約分した 分数で 四角に 書く。
・大問4は、ひろしさんの 求め方が まちがいな 理由と 正しい 確率を、自分の ことばで 枠に 書く。
・大問3は、「正しい」「まちがい」の どちらかを ○で かこみ、まちがいなら 正しい 答えを、正しい 答案なら「同じ」と 四角に 書く。

大問1 起こらない 確率

各3点（6点）

(1) 大小 2つの さいころを 投げる。目の 和が 4に ならない 確率を 求める。

確率 ＿＿＿＿

(2) ある チームが 試合に 勝つ 確率は $\frac{4}{11}$ で、引き分けは ありません。

負ける 確率を 求める。

確率 ＿＿＿＿

大問2 少なくとも 1つ

各3点（9点）

(1) 女子 4人と 男子 3人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。

少なくとも 1人は 女子が 選ばれる 確率を 求める。

確率 ＿＿＿＿

(2) 当たりくじ 2本と はずれくじ 6本が 入った 箱から、同時に 2本 引く。

少なくとも 1本は 当たりを 引く 確率を 求める。

確率 ＿＿＿＿

(3) 10円玉・50円玉・100円玉を 同時に 投げる。3枚を 区別して 数える。

少なくとも 2枚は 表が 出る 確率を 求める。

確率 ＿＿＿＿

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) さいころ2個を 投げる。少なくとも 一方は 偶数の 目が 出る 確率。さくらさん「偶数の 目が 出る 確率 $\frac{1}{2}$ を 2回 たした。答えは 1」

正しい　まちがい　答え ＿＿＿＿

(2) 当たり 1本・はずれ 3本の くじから 同時に 2本。少なくとも 1本は 当たりを 引く 確率。さくらさん「反対の 事柄『2本とも はずれ』の 確率 $\frac{1}{2}$ を 1から ひいた。答えは $\frac{1}{2}$」

正しい　まちがい　答え ＿＿＿＿

大問4 説明

6点

大小 2つの さいころを 投げる とき、少なくとも 一方は 6の 目が 出る 確率を、ひろしさんは「$\frac{1}{6}+\frac{1}{6}=\frac{1}{3}$」と 求めた。この 求め方が まちがいなのは なぜか。正しい 確率も 書きなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「確率」のプリント一覧がひらきます

起こらない 確率と 少なくとも ドリル⑤【こたえ】

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

中2／ドリル 項目8 ⑤ 定期テストの形／25点・15分

ひづけ ＿＿＿＿＿＿ /25

大問1 起こらない 確率

各3点（6点）

(1) 大小 2つの さいころを 投げる。目の 和が 4に ならない 確率を 求める。

確率 $\frac{11}{12}$

(2) ある チームが 試合に 勝つ 確率は $\frac{4}{11}$ で、引き分けは ありません。

負ける 確率を 求める。

確率 $\frac{7}{11}$

大問2 少なくとも 1つ

各3点（9点）

(1) 女子 4人と 男子 3人の 中から、くじで 代表を 2人 選ぶ。

少なくとも 1人は 女子が 選ばれる 確率を 求める。

確率 $\frac{6}{7}$

(2) 当たりくじ 2本と はずれくじ 6本が 入った 箱から、同時に 2本 引く。

少なくとも 1本は 当たりを 引く 確率を 求める。

確率 $\frac{13}{28}$

(3) 10円玉・50円玉・100円玉を 同時に 投げる。3枚を 区別して 数える。

少なくとも 2枚は 表が 出る 確率を 求める。

確率 $\frac{1}{2}$

大問3 答案を 調べて 直す

各2点（4点）

(1) さいころ2個を 投げる。少なくとも 一方は 偶数の 目が 出る 確率。さくらさん「偶数の 目が 出る 確率 $\frac{1}{2}$ を 2回 たした。答えは 1」

正しい ／ まちがい

答え $\frac{3}{4}$

(2) 当たり 1本・はずれ 3本の くじから 同時に 2本。少なくとも 1本は 当たりを 引く 確率。さくらさん「反対の 事柄『2本とも はずれ』の 確率 $\frac{1}{2}$ を 1から ひいた。答えは $\frac{1}{2}$」

正しい ／ まちがい

答え 同じ

大問4 説明

6点

大小 2つの さいころを 投げる とき、少なくとも 一方は 6の 目が 出る 確率を、ひろしさんは「$\frac{1}{6}+\frac{1}{6}=\frac{1}{3}$」と 求めた。この 求め方が まちがいなのは なぜか。正しい 確率も 書きなさい。

6が 2つとも 出る 場合を 2回 数えて いるから。

6が 1つも 出ない 25通りを 36通りから ひいて 11通り。

確率は $\frac{11}{36}$。

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

1(1) 和が 4に なる 確率は $\frac{1}{12}$。1から ひいて $\frac{11}{12}$。(2) $1-\frac{4}{11}=\frac{7}{11}$。

2(1) 全部 21通り、反対は 3通りで $\frac{6}{7}$。(2) 全部 28通り、反対は 15通りで $\frac{13}{28}$。(3) 表が 2枚以上は 4通りで $\frac{1}{2}$。

3(1) 偶数が 2つ 出る 重なりを 2回 数えて いる（正しくは $\frac{3}{4}$）。(2) 正しい →「同じ」。

大問4（各2点）は ①6が 2つとも 出る 場合を 2回 数えた（「重なる」など 同じ 意味なら ○） ②25通り・11通り ③確率 $\frac{11}{36}$（$1-\frac{25}{36}$ でも $\frac{1}{6}+\frac{1}{6}-\frac{1}{36}$ でも ○）で 採点。

別解の 扱い：確率は 約分した 分数（上下でも 斜め線でも ○。小数・百分率・約分前は ×）。場合の数は 数だけ（「通り」は あっても ○）。

いちごドリル プリント